

「徳島県文化芸術推進基本計画（素案）」に係るパブリックコメントの実施結果について

資料2

平成31年3月11日から同年4月9日までの間、「徳島県文化芸術推進基本計画（素案）」に対する御意見を募集した結果、14名の方から31件の御意見を頂きました。お寄せ頂いた御意見の概要と県の考え方は次のとおりです。

番号	意見の概要	ご意見に対する徳島県の考え方
1	徳島県・県民文化課が、瀬戸内国際芸術祭のような徳島県内での国際的な芸術祭の開催を行う。	いただきましたご意見につきましては、関係部局と情報共有するとともに、今後、文化施策等を進めていく上での参考とさせていただきます。
2	今年3月に行なわれたとくしま映画等の「アニメ版」のマチアソビと連携した、アニメ映画等の開催を考えるべき。	
3	徳島県の老若男女が参加できるスポーツ大会の開催(体操大会でもいい)。	
4	徳島県は宿泊が少ない県なので、体験イベントで宿泊をセットにしたプランの提案が必要。	
5	徳島県・県民文化課が、徳島県文化の森総合公園を東京・上野恩賜公園のような総合的な文化・芸術ゾーンにする。	
6	徳島県・県民文化課が、徳島県文化の森総合公園内に東京芸術大学及び京都市立芸術大学のICTサテライトキャンパス大学の開学を行う。	
7	徳島県・県民文化課が京都府への文化庁の全面移転を機会に、文化庁と共に文化連携事業を行う。 *徳島県立博物館で京都国立博物館の所蔵品展の開催 *徳島県立近代美術館で京都国立近代美術館の所蔵品展の開催	
8	徳島県・県民文化課が関西広域連合を通じて「関西広域連合・人形浄瑠璃街道」における文化交流の推進を行う。	県では、関西広域連合の一員として、人形浄瑠璃が全国に広がった歴史を「人形浄瑠璃街道」と位置づけ、情報発信や調査研究などに取り組んできたところです。引き続き、関西広域連合を通じた文化交流を推進して参ります。
9	徳島県・県民文化課が「鳴門のベートーヴェン第九アジア初演の地」を世界の文化ブランド化へ向けた文化育成を行う。 →「鳴門ベートーヴェン第九アジア初演地の聖地化」へ	県では、四国遍路お接待の心が「アジア初演」につながった「ベートーヴェン・第九」について、「あわ文化4大モチーフ」の一つとして、その振興・発展に取り組んできたところです。平成30年2月には、「第九」アジア初演100周年を記念する演奏会を開催いたしました。今後とも引き続き、振興・発展に取り組んで参ります。
10	県の「第九」が再び開催されることを望みます。	

番号	意見の概要	ご意見に対する徳島県の方考え方
11	徳島県・県民文化課が「徳島県文化芸術推進基本計画」に「文化・芸術立県とくしま」を明記する。	「文化立県とくしま」の実現に向け取組みを進めてきたことについて計画に記載させていただいているところです。
12	計画の目標となる指標を定めて、計画の進捗管理をしっかりと進めてほしい。また、計画期間は5年となっているが、知事任期を考えると、4年の指標を策定し、推進すべきと考える。	
13	国の文化芸術基本法の趣旨に沿って、徳島県版の文化の基本計画として包括的に記載されていると思う。ただ、5つの基本的方向性にもとづき、事業展開の施策を記載しているが、「施策の具体的な数値目標」も併記し、施策の実施を実感できるようにしてほしい。	
14	文化は一朝一夕に出来上がるものではないので、行政は長期的な視点にたって、計画を考えるべきだと思います。また、進捗管理も重要だと思います。	
15	県民が取り組む幅広い文化活動に対する支援が充実されるようにお願いしたい。	県におきましては、今回策定いたします「徳島県文化芸術推進基本計画」の内容を踏まえ、「あわ文化4大モチーフ」をはじめとする多彩な「あわ文化」について、その発展・振興に向けた施策の推進に努めて参ります。
16	「文化」の定義は難しい。絵、音楽、アニメ、人形浄瑠璃や阿波おどりの伝統芸能、地元の祭りなど。この計画では、文化と産業・観光分野を一体として創出するとしているが、そのためには、やはり「その地ならではの文化」をしっかりと継承・発展させる必要がある。徳島に息づく「あわ文化」をさらに県外・海外に発信していく施策を推進してほしい。	
17	「未知なる」世界へ！道成る「あわ文化」とあるが、新たな文化だけでなく、県民がこれまで地道に育んできた文化活動にも、引き続き、スポットをあてて振興してもらいたい。	
18	徳島の文化には、阿波おどりや人形浄瑠璃のほかにも、大谷焼きや竹細工など、さまざまなものがあるので、広く文化を振興してほしい。	
19	昔は、阿波おどりと言えば、県内各地でさまざまに踊られていましたが、だんだん徳島市の踊り中心になって、地方の文化が弱まっている気がします。地域の活力が高まるようにしていただきたいです。	
20	茶道や華道など、必ずしも徳島の文化ではなく、日本全体の文化と捉えられるものだが、多くの人がされているので、徳島県としても大切な文化として取り扱うべきだと考えます。	

番号	意見の概要	ご意見に対する徳島県の方考え方
21	文化は高齢者の「生きがい」にもつながる大事なもの。健康寿命をのばすことにも役立つことから、積極的に振興してほしい。	県におきましては、今回策定いたします「徳島県文化芸術推進基本計画」の内容を踏まえ、多くの県民の方々が文化芸術活動に触れる機会の拡大などを通じ、県民主役の「あわ文化」が更に発展するよう施策の推進に努めて参ります。
22	子どもたちが気軽に、上質の文化に触れ、親しみ、体験出来るような企画を積極的に展開して欲しい。	
23	新しい元号が「令和」に決まった。「令和」には、人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つという意味が込められているという。「令和元年」にふさわしい、すばらしい計画となるよう内容の充実を望みます。	
24	未知の世界を切り拓き、文化の力でとくしまを活性化させてほしい。	
25	とくしまの文化を発信する機会を逃さず、取り組んでほしい。	
26	「あわ三大音楽」(邦楽、ジャズ、クラシック)の内ジャズは何なのだろうか？	本県では、阿波おどりや人形浄瑠璃に用いられる三味線をはじめとした「邦楽」、ベートーヴェン・第九アジア初演の地としての「クラシック」、30年の歴史を持つ「徳島ジャズストリート」をはじめとする「ジャズ」を「あわ三大音楽」と位置づけ、その振興・発展に取り組んできたところです。引き続き、徳島の「ジャズ」文化について、周知・広報に努めて参ります。
27	「徳島ファン」といっても、限定されるので四国ファン(高知香川愛媛徳島)にした方がいいのではないかな？	徳島県における文化芸術の振興に向け、徳島に愛着を持って応援していただく方々という趣旨から「徳島ファン」という言葉を用いさせていただいたところです。
28	「あわ文化」をどうするという事を標記しているが、「4大モチーフ」に少し触れただけで、これまでの活動の反省や改善、分析があっても良いと思う。同審議会では、県民に通じないとか発信が受け取られていないとか、vs東京との関連など議論がされているが、本計画に文化の基本内容の記載がないと、何を狙っているのかイメージできないと思う。参考資料的に、直近の事業成果などを記載したら良いと思う。	いただきました御意見を踏まえ、基本計画の取りまとめにあたり参考といたしました資料や検討の経緯等につきましては、巻末資料等として整理をさせていただきます。
29	文化資源のリスト化や施策の一覧表程度はあっても良いように思う。	
30	文化創造審議会の議論が活かされている部分がよく判らないので、作成プロセスや審議会やアンケートとの連動が判るようにして欲しい。	
31	基本計画と下位の施策との関連図などを示し、施策大系がわかるようにして欲しい。	